

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	日本植物学会第81回大会（2017年9月8日-10日、千葉県野田市東京理科大学野田キャンパス）
演題名	Euglena gracilisのカロテノイドを介する光応答とその生理生態上の機能
発表者	○ <u>加藤 翔太</u> （帝京大・理工、博士研究員）
内容	<p>植物分子細胞学研究室の博士研究員（ポスドク）の加藤翔太博士が、日本植物学会第81回大会の「カロテノイド：その多様性と普遍性が切り拓く新展開」（オーガナイザー：篠村知子・帝京大、池内昌彦・東大）と題するシンポジウムに講演者として招待され、講演を行いました。</p> <p>藻類に含まれるカロテノイド種は系統分類によって大きく異なります。加藤研究員は、二次植物Euglena gracilis（以降、ユーグレナとする）のカロテノイド合成系遺伝子のクローニングを行い、ユーグレナに含まれるカロテノイドをHPLCを用いて分析し、β-カロテンやネオキサンチン、ジアジノキサンチン、ジアトキサンチンがユーグレナの主要なカロテノイドであることを明らかにしました。ジアジノキサンチンとジアトキサンチンがユーグレナの光防護に重要なカロテノイドである可能性が示されたことなど、ユーグレナにおけるカロテノイド合成と機能に関する研究成果を発表しました。</p> <p>本研究の一部は私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「植物オキシリピンの生理機能の解明とその応用」、および科学研究費補助金(基盤研究C 17K07945)の支援を受け、H29年度の本研究室の卒研生や学内外の研究者と共同で行いました。</p>
関連画像	